

平成20年度宮古群島病害虫発生予報第2号(5月予報)

5月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	30	30	30
平 年 並	30	40	40
低い(少ない)	40	30	30

(平成20年4月25日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平年値

要 素	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	24.6	27.4	22.5	209.3	147.6

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

5月の発生予報および防除上の注意事項

向こう1か月間に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

宮古群島

1 さとうきび

春植えにおけるメイチュウ類の防除対策

- a 4月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は、4685頭(前年1424頭、平年2137頭)と平年より多かった。
- b 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点をおく。
- c 培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

サキシマカンシャクシコメツキ(ハリガネムシ)の防除対策

- a 4月の合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は27頭(前年21.2頭、平年46.7頭)と平年よりやや少なかった。
- b 更新圃場は速やかに古株などの残渣を処理し、植え付けまでに数回耕耘して幼虫密度の低減を図る。
- c 培土時に他の土壌害虫の防除も兼ねた薬剤を選定し施用する。

2 マンゴー

生理落果～果実肥大期の病害虫防除対策

- a 4月下旬の調査の結果、炭疽病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類の発生が認められた。
- b 病害対策として、施設内の通気をよくするとともに、薬剤による予防に努める。また罹病した葉・花序等は除去し、施設外へ持ち出し処分する。
- c チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新葉を除去し、ビニール袋に密閉して持ち出し処分する。
- d チャノキイロアザミウマやハダニ類は水に弱いので、晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- e チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達しやすいことから、同系統薬剤の連用を避ける。